

平成 30 年度

工事番号                      第    110    号

切谷内地区防火水槽新設工事

特記仕様書

予定価格(税抜き)
¥6,820,000

五戸町 大字 切谷内 字 堤頭 地内

青森県五戸町



[illegible]

## No.1

[illegible]

## No.2

[illegible]

### No.3

[illegible]

# 交通安全施設工事数量計算書

No.4

工種	形状寸法	計算式	単位	計		備考
交通誘導警備員B		1.7*1.0	人日	2	0	
	掘削	28.8/37=0.78				
	下層路盤工	(64/1,110)*2=0.12				
	基層	(64/2,300)*2=0.06				
	表層	64/2,300=0.03				
	現場発生品・支給品運搬	2/12=0.17				
	床掘り	4.46/32=0.14				
	自由勾配側溝設置工	8/20=0.4				

## 第1条 適用範囲

本工事は、青森県県土整備部制定「共通仕様書」に準拠するほか、本特記仕様書により施工するものとする。仕様書の記載内容の優先は、「土木工事特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

## 第2条 施工条件明示

下表項目、事項のうち該当欄は、工事施工に当たって制約等を受けることとなるので明示する。なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない施工条件が発生した場合は、監督職員と協議し適切な処置を講ずるものとする。

明示事項		内容					
1.工程関係	1.工事日数又は工期	<input checked="" type="checkbox"/>	工期 平成31年 3月15日まで				
		<input type="checkbox"/>	工事日数 日間				
		<input type="checkbox"/>	この工事の工期は、春先の工事着手を想定して設定されている				
		<input type="checkbox"/>	この工事は、 年債務であり、契約年度内に出来高の確保が必要である。				
		<input type="checkbox"/>	この工事は、「フレックス工期制度」を適用する		全体工期	日間	
			余裕期間	落札日より60日以内			
			留意事項	着工日報書により着工日を報告しなければならない			
	2.影響を受ける他の工事及び制約の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	他工事の名称		発注者等名	影響を受ける箇所	期間	
						～	
						～	
						～	
		時間帯	工種	制約内容		その他	
		～					
		～					
		～					
	3.施工時期・時間、施工方法制約の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	制約の要因	工種	時期		時間帯	制約の内容
				～		～	
				～		～	
				～		～	
	4.関連機関等との協議未成立に伴う制約の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	関連機関名称	協議内容	成立見込時期	制約箇所	制約内容	
5.関係機関等との協議結果、工程に影響を受ける特定条件の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	関係機関名称	影響を受ける箇所	影響を受ける期間		影響を受ける内容		
			～				
			～				
			～				
6.地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査・移設による制約の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	地下埋設物・埋蔵文化財名称	管理者の名称	事前調査の時期		移設時期		
2.用地関係	1.工事用地等の未処理部分の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	未処理の箇所	影響を受ける範囲	影響を受ける工種	取得見込時期		
	2.工事用地等の使用終了後における復旧条件の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	復旧が必要な場所	復旧が必要な範囲	復旧条件	復旧完了予定日		
	3.工事用仮設道路・資機材置き場用借地の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	借地の場所	借地の面積	借地の期間	使用条件	復旧方法	
				～			
				～			
				～			
	4.仮設ヤード指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指定の場所	指定の面積	使用期間	使用条件	復旧方法	
				～			
				～			
				～			



明示事項		内容					
3.公害関係	1.公害防止に伴う制限の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	公害の種別	対象工種	内容	作業時期	その他	
					～		
					～		
					～		
	2.水替・流入防止施設の必要性の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	対象工種	場所	施工方法	施工期間等		
	3.濁水・湧水処理への特別な対策必要性の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	対象工種	処理内容	処理条件	期間		
	4.事業損失等、第三者に被害を及ぼすことが懸念されるか  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	懸念事項・範囲	調査の内容	調査の実施時期	報告書の有無		
4.安全対策関係	1.交通安全施設等の指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	施設の種別	対象工種	設置期間	施設の内容等		
	2.近接施工の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	施設の名称	管理者	範囲	協議状況	条件・制限等の内容	
	3.防護施設必要性の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	危険要因	施設の種別・名称	施設の規格	設置期間		
	4.保安設備、保安要員配置の指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	保安設備・保安要員	対象工種	配置場所	規格・規模	設置期間及び時間帯	
	5.発破作業等制限の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	制限される範囲	制限の内容	制限される期間・時間	その他		
	6.有毒ガス及び酸素欠乏等対策の指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	危険要因	対象工種	施設の規格・規模			
	5.工事用道路関係	1.搬入路としての一般道路指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	搬入経路	使用期間	使用時間帯	制限の内容	
				～	～		
				～	～		
				～	～		
使用中の管理の内容			使用後の補修の内容				
2.仮設道路設置の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		設置場所	規格・構造	安全施設設置区間	安全施設の内容		
				～			
				～			
				～			
		維持補修の内容			工事終了後の処置		

明示事項		内容						
6.仮設備関係	1.指定仮設の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	仮設物の名称・規格		数量	設置期間		条件等	
					～			
					～			
	2.部分指定仮設の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	仮設物の名称・規格		数量	設置期間		条件等	
					～			
					～			
	3.他の工事への引渡しの有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	仮設物の名称・規格		引渡し工事名		引渡し時期	条件等	
	4.引継ぎ使用の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	仮設物の名称		設置工事名		設置工事施工者	引継ぎ時確認事項	
		引継ぎ時期		条件等				
	5.構造及び施工方法指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	仮設物の名称		仮設物の規模		使用材料	施工方法	
	6.設計条件指定の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	仮設物の名称		設計条件			その他	
	7.建設副産物関係	1.建設発生土の搬出  <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	発生土種別	発生量	指定・任意の別	運搬距離	搬出先	処分・保管等の条件
			第一種	33m3	任意	L=5.4km	(有)大昇運輸	
2.建設発生土の搬入  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		工事名		発注機関名	発生場所		搬入量	その他
3.建設副産物の現場内での減量化・再利用の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		種別		減量化の内容		再利用の方法		その他
4.建設廃棄物の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		下記の処分場は設計積算上での条件明示であり、処分場を指定するものでない。 ただし、下記の処分場以外で処理する場合は、監督職員の承諾を得ること。						
		種別	発生量	運搬距離	最終処分場所在地	最終処分場名	その他	
5.建設副産物の有無  <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		下記の処理施設は設計積算上での条件明示であり、処理施設を指定するものでない。 ただし、下記の処理施設以外で処理する場合は、監督職員の承諾を得ること。						
		種別	発生量	運搬距離	再生処理施設所在地	再生処理施設名	受入時間	
		Co製品	3.2t	5.4km	五戸町大字切谷内字大久木沢尻95-231	(有)大昇運輸	～	
							～	
							～	
							～	
							～	
6.再生資材利用の有無  <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	再生資材の名称		規格		使用箇所			
	①再生粗粒度		20		基層			
	⑤再生密粒度		20F		表層			
	再生碎石		RC-40		下層路盤			

明示事項		内容					
7.建設副産物関係	7.産業廃棄物税計上の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	本工事で発生する建設廃棄物については、青森県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること					
		有：本工事では、青森県産業廃棄物税相当額を計上している 無：本工事では、青森県産業廃棄物税相当額を計上していないが、必要に応じ設計変更で対応する					
8.工事支障物件等	1.占用物件等の工事支障物件の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	支障物件名	管理者名	場所	協議の状況	移設時期	
		工事方法			条件等		
9.薬液注入関係	1.薬液注入工事の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	設計条件	工法区分	材料種類	施工範囲	削孔数量	削孔延長
		注入量	注入圧	その他			
	2.周辺環境影響調査の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	調査項目	採取地点		採取回数	報告書の有無	
10.その他	1.工事用資機材の保管及び仮置きの有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	種類	数量	保管・仮置き場所		期間	
						～	
						～	
						～	
		保管方法		積込・運搬方法			
	2.工事現場発生の品物の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	品名	数量	引渡し場所		引渡し時期	運搬距離
	3.支給材料及び貸与品の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> 貸与品 <input type="checkbox"/> 支給材料	品名	数量	構造・規格等	引渡し場所		返納場所
		使用目的・箇所		条件	引渡し時期		その他
	4.随意契約工事に伴う間接費等調整の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	工事番号	工事名		場所		
	5.各種調査の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※共通仕様書に基づき協力すること	※本工事は、上記工事と間接費等の調整を行っている。					
		調査名称	内容			その他	

明示事項		内容		
10.その他	6.共通仕様書に定める以外の施工検査の有無	工種等	検査時期	その他
	7.中間検査の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	工種等	検査時期	その他
	8.部分引渡しの有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指定部分		引渡し時期
	9.部分使用の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	使用箇所	使用期間	その他
			～	
			～	
			～	
	10.工事現場のイメージアップの有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	項目	内容	
		仮設備		
		安全設備		
		営繕設備		
	11.監督職員の検査を受けて使用すべき材料の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	材料名	工事段階	備考
	12.監督職員立会いの上で調合すべき材料の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	材料名	工事段階	備考
13.調合について監督職員の見本検査を受ける材料の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	材料名	工事段階	備考	
14.監督職員立会いの上、施工すべき工種の有無  <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	工種名	工事段階	備考	
	下層路盤	完了時		
	基層	完了時		
15.工事調整会議開催の有無  <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	工事調整会議とは、工事着手前に設計の意図及び目的を施工者へ的確に伝え、設計及び施工条件、施工上の留意点などを確認、協議することにより、工事施工の円滑化と品質の確保を目的とし、発注者・設計者・施工者により構成される会議である。			

## 10.その他 - 16 青森県認定リサイクル製品の使用

本工事は「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」に基づき、「青森県認定リサイクル製品」を使用し工事を実施するよう努めるものとする。

なお、「青森県認定リサイクル製品」の入手が困難な場合のほか、使用できない理由がある場合は、その旨を書面で提出し、監督員の承諾を得て新材製品を使用するものとする(Aグループのみ)。

### 【青森県認定リサイクル製品優先使用指針-使用上のグループ区分に基づく認定製品の使用】

Aグループ	特段の理由がない限り、優先使用に努める。
Bグループ	試験的な使用等、積極使用に努める。

※使用上のグループ区分は、価格と施工実績によるもので製品の優劣で定めたものではない。

Bグループの製品であっても使用できる工種がある場合は使用するよう努めるものとする。

製品のパンフレットや優先使用指針、使用様式は下記の環境政策課ホームページに掲載しています。

[http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/nintei\\_recycle.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/nintei_recycle.html)

## 10.その他 - 17 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等

本項目に関する運用マニュアルや使用様式は下記ホームページに掲載しています。

[http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/sekisanhouhou\\_sikou\\_h26.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/sekisanhouhou_sikou_h26.html)

## 10.その他 - 18 労働者確保に要する間接費の設計変更

1.本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象費」という)について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。

営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る。)

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2.受注者から協議があった場合、発注者は工事費構成書にて共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象費の割合を提示するものとする。

3.受注者は、前条で示された割合を参考にして実績変更対象費に係る費用の内訳を記載した実施計画書(様式1)を作成し、監督職員に提出するものとする。

4.最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、変更実施計画書(様式2)及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

5.受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

6.実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、共通仮設費率分は、土木工事標準積算基準に基づく算出額から実施計画書(様式1)に記載された共通仮設費率分の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。また、現場管理費は、土木工事標準積算基準に基づく算出額から実施計画書(様式1)に記載された現場管理費の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

7.受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。

8.疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

本項目に関する運用マニュアルや使用様式は下記ホームページに掲載しています。

[http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/sekisanhouhou\\_sikou\\_h26.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/sekisanhouhou_sikou_h26.html)

## 10.その他 - 19 施工箇所が点在する工事の積算方法の試行工事

1.本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、『〇〇地内(施工箇所〇〇、〇〇)、△△地内(施工箇所〇〇)、□□地内(施工箇所〇〇)(以下、対象地内という)』毎に共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法の試行工事」である。

2.本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。

※『〇〇地内(施工箇所〇〇、〇〇)、△△地内(施工箇所〇〇)、□□地内(施工箇所〇〇)』の部分には共通仮設費及び現場管理費を個別に積み上げる地区及び橋梁名等を記載する。

本項目に関する運用マニュアルや使用様式は下記ホームページに掲載しています。

[http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/sekisanhouhou\\_sikou\\_h26.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/sekisanhouhou_sikou_h26.html)

## 10.その他 - 20 落橋防止装置等への対応

### 1. 溶接種別の確認等

受注者は、落橋防止装置、変位制限装置（以下、「落橋防止装置等」）の設計図書における溶接記号に疑義が生じた場合には、土木工事共通仕様書「第1編 第1章 第1節 1-1-3 設計図書の照査等 第2項」に準ずるものとする。

なお、受注者は設計図書の照査にあたっては、別添の（一社）建設コンサルタンツ協会文書「落橋防止装置等の溶接不良の再発防止に関して（要請書）」（平成27年12月25日付）を踏まえて実施するものとする。また、受注者は外部の製作会社に製作を外注する場合には、製作会社が作成する製作要領書等により、製作会社が契約図書の内容を正確に認識していることを確認するものとする。

### 2. 落橋防止装置等製作工

工場で行う落橋防止装置等の製作については、以下によるものとする。

1) 土木工事共通仕様書「3-2-12-3 桁製作工」に準じて行うものとする。

#### 2) 溶接検査について

①受注者は、外部の製作会社に製作を外注する場合には、内部きずの非破壊試験検査を受注者自身或いは第三者の検査会社で行うことを施工計画書に明記するものとする。

②受注者は、検査を外注する場合には、当該工事の製作会社に所属せず、かつ、当該工事の品質管理の試験（社内検査）を行っていない第三者の検査会社と直接契約を行うものとする。

③内部きずの検査について、非破壊検査を行う者は、試験の種類に応じたJIS Z 2305（非破壊試験－技術者の資格及び認証）の資格を有した者であること。なお、資格証明書（写）を施工計画書に添付するものとする。

④落橋防止装置等における完全溶込み溶接継手における超音波探傷試験の非破壊試験検査は全数を対象に溶接継手全長の検査を行うものとする。

#### 3) 溶接施工について

①受注者は、溶接工程において、開先加工、裏はつりの作業状況を自ら記録し、記録書の写しを監督職員に提出するものとする。なお、当該分野についてISO9001を取得している製作会社（登録範囲に鋼構造物の製作や製造等を含むもの）及び検査会社（登録範囲に超音波探傷試験検査を含むもの）を利用する場合は当該記録を同製作会社に行わせることができる。

②受注者は、溶接管理技術者及び溶接技能者の資格証明書（写）を施工計画書に添付するものとする。

#### 4) 抜き打ち非破壊試験検査について

本工事は発注者による抜き打ち非破壊試験検査を実施することがある。よって、受注者は、受注者自身或いは第三者の検査会社による非破壊試験検査実施後、結果について速やかに監督職員に報告するものとし、塗装等の実施については監督職員の承諾を得るものとする。

また、上記の抜き打ち非破壊試験検査で不合格となった場合、受注者は落橋防止装置等の完全溶込み溶接継手全てにおいて、改めて、受注者自身或いは第三者の検査会社による非破壊試験検査を実施し、その結果を監督職員に報告するものとする。

5) 溶接施工、非破壊試験検査を外注する場合は、施工体制台帳に記載するものとする。

### 3. 検査等に合格した場合における瑕疵担保の取扱い

検査（完成検査、指定部分完了検査、出来形検査（既済検査）、中間検査）、段階確認、落橋防止装置等を対象とした抜き打ち非破壊試験検査に合格しても、後に施工不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

第3条 設計変更の手続

設計変更等については、契約書第18条から第24条及び共通仕様書共通編1-1-13から1-1-15に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続については、「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン(総合版)」(青森県 県土整備部)によるものとする。

第4条 使用材料の品質規格等

設計図書に記載された材料のうち、材料内訳及び規格・材質等について詳細な記載が無い材料について、以下に示す。

(1) 植生工材料

種子吹付の材料内訳については下表を参考とし、現地状況や発芽率を考慮の上、事前に配合計算書を提出し、監督職員の承諾を得ること。

(参考)		100m2 当り		
名称	規格・寸法・材質	数量	単位	備考
トルフェスク		0.78	kg	
オーチャートグラス		0.22	kg	
クレーピングレッドフェスク		0.14	kg	
めどはぎ		0.05	kg	
よもぎ		0.03	kg	
やまはぎ		0.02	kg	
肥料 高度化成	NPK 15-15-15	18.00	kg	
ファイバー類		24.00	kg	

(2) 河川環境に配慮したコンクリートブロック(景観、植生、水棲生物、魚類に配慮)

本工事で使用する環境保全型ブロックは、以下の諸元を満足する材料を使用することとし、事前に監督職員の承諾を得ること。

勾 配: 1 : \_\_\_\_\_  
設計流速: \_\_\_\_\_ m/s

(3) その他

材料名	規格・寸法・材質	適用工種	備 考

第5条 フレックス工期制度

- (1) 落札者は、落札の日から60日以内の任意の日を着工日として設定することができる。ただし、工期末は12月末日を越えてはならない。
- (2) フレックス工事により増加する経費は受注者の負担とする。
- (3) 契約締結の日から着工日までの現場の管理は、発注者の責任において行うものとし、請負者は資材の搬入、仮設物の設置等を行ってはならない。

第6条 工事現場のイメージアップ

- (1) 工事現場のイメージアップは、地域とのコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、作業環境を高めるものであり、公共事業の円滑な執行を目的とするものである。よって、受注者はこの趣旨を理解し、発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。
- (2) イメージアップについては具体的な実施内容、実施期間について、施工計画書を作成して提出するものとする。
- (3) イメージアップの実施状況等の写真を完成書類に添付するものとする。

第7条 排出ガス対策型建設機械

排出ガス対策型建設機械が使用できない場合には、使用できない理由を書面(工事打合簿)により提出し、監督員の承諾を受けることとする。

## 第8条 その他の特記事項

本工事にかかるその他の特記事項は下表のとおりとする。

特記事項	特記事項の内容
「青森県リサイクル製品認定制度」に基づく認定リサイクル製品及び「レッツbuyあおり新商品事業」により認定された新商品の使用について	認定リサイクル製品を使用する場合は、別表－3に必要事項を記入のうえ、公衆の見やすい場所に掲示すること。 本工事において、認定リサイクル製品若しくは認定された新商品を使用した場合は、工事完了後別表－4に必要事項を記入のうえ提出するものとする。
低入札調査契約	低入札価格調査制度により落札された場合は、施工検査（工事段階検査……各工種）の実施について、施工計画書を基に打ち合わせをする。
簡易型建設副産物実態調査	全ての工事において工事完了後、「再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）入力システム」により、実施書のデータを提出する。なお、パソコン環境の状態により、データの提出が困難な場合は企画整備課へ連絡のうえ、調査票の提出とする。 上記「入力システム」は企画整備課より貸与する。
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条について	（法第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。） 法第12条第1項の規定による説明（書面の様式については監督職員の指示による）については、落札者は契約前に当該報告を監督職員に対して行うものとする。 落札者は、監督職員への説明時に交付した書面と同じものを契約事務担当職員に提出するものとする。
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条について	（法第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。） 法第18条第1項の規定による報告（書面の様式については監督職員の指示による）については、受注者は再資源化等が完了したときは、当該報告を監督職員に対して行うものとする。
完成検査申請等	完成検査実施予定の前月15日までに予定日を監督員に報告のこと
伐木・抜根材の有効利用	伐木、除根等により発生した伐木・抜根材を有用物として、有効利用する一般の希望者へ提供するので、伐木・抜根材を樹種・部位別に分別し、1～3m程度の長さで切断、1m未満のものを含めて集積し、整然と保管すること。 伐木・抜根材の発生情報を県土整備部企画課のホームページから公表するので、樹種・部位別の個数、重量、引渡期間、引渡場所、現場代理人の連絡先等を監督員へ速やかに報告し、保管状況写真を提出すること。 引渡期間を経過した伐木・抜根材は、再資源化処理場へ搬出するなど、適正に処理すること。
青森県県土整備部請負工事成績評定要領第4条5項について	（請負代金が250万円以上の工事の場合に限る。） 請負者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式（別表－1、2）により提出できる。
石綿障害予防規則に基づく工事	石綿障害予防規則に基づき、解体等の作業における保護具の装置、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用、特別の教育を請負者が実施する場合の費用については、当初積算では計上していないため、それらに要した費用について監督職員と協議の上、設計変更で見込むものとする。 また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、契約書の関係条項に基づき適切に変更することとする。
ワンデーレスポンス	本工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行うこと。 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
暴力団員等による不当介入に対する通報・報告義務	受注者は、受注者及び下請負者に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
舗装工事における工事記録の作成	青森県が管理する道路（道路法に基づく道路）について、新設・改築・維持・修繕の舗装工事を行う際は「舗装工事における工事記録作成要領」に基づき工事記録を作成し、工事完了後に監督職員へ提出すること。 ※工事着手前に監督職員から必要書類等（作成要領や提出様式の電子データ）の提供を受けること。



## 第9条 提出書類

### (1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
総務課	工 事 工 程 表	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1 部	3条	
総務課	現 場 代 理 人 等 通 知 書	着 工 時	1 部	10条	資格証の写しを添付
監督員	工 事 履 行 報 告 書	毎月1回監督職員の指定する日	1 部	11条	毎月1部提出のこと
監督員	完 成 届	工事完成の日から5日以内	1 部	31条	
監督員	引 渡 書	工 事 完 成 検 査 合 格 後	1 部	31条	
監督員	請 求 書	工 事 完 成 検 査 合 格 後	1 部	32条	

### (2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
建設課	請 負 代 金 内 訳 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1 部	3条	3条(A)(B)適用の場合
建設課	現 場 代 理 人 等 変 更 通 知 書	必 要 の 都 度	1 部	10条	
監督員	材 料 確 認 書	必 要 の 都 度	1 部	13条	
監督員	確 認 ・ 立 会 依 頼 書	必 要 の 都 度	1 部	14条	
監督員	支 給 品 受 領 書	引 渡 し の 日 から 7 日 以 内	1 部	15条	
監督員	貸 与 品 借 用 ( 返 納 ) 書	引 渡 し の 日 から 7 日 以 内	1 部	15条	
監督員	工 期 延 期 届	必 要 の 都 度	1 部	21条	

### (3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	共通仕様書	備考
監督員	工 事 打 合 簿	必 要 の 都 度	1 部	第1編1-1-6	
監督員	再 生 資 源 利 用 計 画 書	着 工 前	1 部	第1編1-1-18	
監督員	再 生 資 源 利 用 促 進 計 画 書	着 工 前	1 部	第1編1-1-18	
監督員	再 生 資 源 利 用 実 施 書	工 事 完 成 後 速 や か に	1 部	第1編1-1-18	
監督員	再 生 資 源 利 用 促 進 実 施 書	工 事 完 成 後 速 や か に	1 部	第1編1-1-18	
監督員	工 事 写 真	工事完成の日から5日以内及び 必 要 の 都 度	1 部 1 部	第1編1-1-20	工事写真全部 着工前・完成のみ
監督員	施 工 管 理 図 表	工事完成の日から5日以内及び 必 要 の 都 度	1 部	第1編1-1-23	

### (4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名称	提出期日	部数	条項	備考
監督員	施 工 計 画 書	着 工 前 及 び 必 要 の 都 度	1 部	第1編1-1-4	※1
監督員	CORINS 登 録 内 容 確 認 書	登録内容確認書が届き次第速やかに	1 部	第1編1-1-5	請負金額500万円以上 受注時・変更・完成・訂正時 (土日祝日を除く10日以内)
監督員	施 工 体 制 台 帳 図 施 工 体 系 図	下請負契約締結後速やかに	1 部	第1編1-1-10	
監督員	支 給 品 精 算 書	工 事 完 成 時 (完成前に精算可能な場合はその時点)	1 部	第1編1-1-16	
監督員	現 場 発 生 品 調 書	引 き 渡 し 時	1 部	第1編1-1-17	
監督員	火 薬 類 使 用 計 画 書	着 工 前 及 び 必 要 の 都 度	1 部	第1編1-1-27	非火薬品(破碎薬)含む
監督員	事 故 報 告 書	発 生 時	1 部	第1編1-1-29	
建設課	建設業退職者共済組合 掛金収納書(発注者用)	契約締結時又は事情がある場合 は契約締結後1ヶ月以内	1 部	第1編1-1-40	

※1 請負金額1,000万円以上。(ただし、1,000万円未満でも監督職員が必要と認めたとき)

別表 - 1

## 高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況

工 事 名 :		請 負 者 名 :
項 目	評 価 内 容	備 考
<input type="checkbox"/> 高度技術 工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力	<input type="checkbox"/> 施工規模	
	<input type="checkbox"/> 構造物固有	複雑な形状の構造物 既設構造物の補強、特殊な撤去工事
	<input type="checkbox"/> 技術固有	特殊な工程及び工法 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用
	<input type="checkbox"/> 自然・地盤条件	湧水、地下水の影響 軟弱地盤、支持地盤の状況 制約の著しい工事用道路・作業スペース等 気象現象の影響 地滑り、急流河川、潮流等、動植物等
	<input type="checkbox"/> 周辺環境等、社会条件	埋設物等の地中内の作業障害物 鉄道・供用中の道路・建築物等の近接施工 騒音・振動・水質汚濁等環境対策 作業スペース制約・現道上の交通規制 廃棄物処理
	<input type="checkbox"/> 現場での対応	災害等での臨機の処置 施工状況(条件)の変化への対応
	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 創意工夫 「高度技術」ほどでない軽微な工夫	<input type="checkbox"/> 準備・後片付け	
	<input type="checkbox"/> 施工関係	施工に伴う機械、器具、工具、装置類 二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫 施工環境の改善 仮設計画の工夫 施工管理、品質管理の工夫
	<input type="checkbox"/> 品質関係	
	<input type="checkbox"/> 安全衛生関係	安全施設・仮設備の配慮 安全教育・講習会・パトロールの工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫
	<input type="checkbox"/> 施工管理関係	
	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	<input type="checkbox"/> 地域への貢献等	地域の自然環境保全、動植物の保護 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション ボランティアの実施

1. 該当する項目の□にレマーク記入。

2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

別表 - 2  
高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)

工 事 名				/
項 目		評価内容		
提案内容				
(説 明)				
(添 付 図)				

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

この工事では、「青森県認定リサイクル製品」を使用しています。

「青森県認定リサイクル製品」は、県内で発生する循環資源を原材料とした製品で、安全性、規格等について青森県知事の認定を受けた製品です。



認 定 番 号	
品 目	
製 品 名	
製 造 者	

## 別表 - 4

## 青森県認定リサイクル製品及びレッツbuyあおもり新商品事業認定製品

## 使用実績調査票

工事名:

受注者名:

[illegible]